

## 中小・小規模事業者支援について

中小・小規模事業者の発展が、すなわち日本の国力となる

- 脱炭素化社会(グリーン化)への移行に伴い変革が迫られる、産業・企業が未来へ飛躍するために
- 構造改革に伴う多様な支援の実施
  - エネルギーコストの低減
  - 労働力不足への対応(外国人労働者制度の改革)
  - 技術開発支援(企業、大学など民間への支援強化)

## 災害対策について

気候変動による大規模化する自然災害に対応できる社会資本整備

- 河川流域全体での治水対策や老朽化したインフラ対策、防災・減災・国土強靱化に向け、新技術を生かした国土づくりの推進。



## 子育て支援について

「子どもは国の宝」、子ども保護者が安心して子育てできる社会へ

- 切れ目のない支援の推進…安心できる出産、妊婦支援、孤立させない幼児家庭支援、学童保育(放課後児童クラブ)充実など
- 学ぶ機会の支援…高等教育の無償化の実現

## 障がい者支援について

誰もが社会的障壁のない社会で安心・安全にくらせるユニバーサル社会の実現

- バリアフリー化の要る促進、教育環境の改善、障がい者の利便性を考えたワンストップ窓口の設置

## 環境問題について

なぜ今、環境問題(気候変動)への対応(2050年カーボンニュートラルの達成)が必要なのか

### 5つの脅威

～大規模化する自然災害と生態系の変化～  
環境問題は、日本だけでなく国際社会全体・人類が直面する最大かつ喫緊な課題です。

- 雨の脅威** 頻発する大型台風や豪雨による河川の氾濫・土砂災害(社会資本整備)
- 平均気温上昇の脅威** 農作物の高温障害(高温耐性や風雨耐性向上などの品種改良)、水河融解による海面の上昇や森林火災の多発(カーボンニュートラルによる気温上昇の抑制)
- 健康への脅威** 熱中症、熱波・水土・水河融解などを原因とする未知なる感染症の発生
- 日本生態系の脅威** 気候変動による日本古来種の減少・絶滅、外来動植物の増加
- 海洋生物への脅威** 気候変動による生態系の変化、大量の海洋プラスチックごみ流出による汚染

## ささがわ博義 6つの政策

### 農業支援について

「農は、国の大本なり」―農業は、国の根幹をなすものです

- 担い手の確保と育成
- 販路の開拓(食生活に合わせた商品開発支援、海外への輸出促進)
- 自然災害(高温障害、水害など)への対応力強化支援



### 【役職】環境副大臣

国連障害者の権利条約批准議員連盟事務局長、自民党海洋プラスチック対策推進議員連盟副幹事長、自由民主党学童保育推進議員の会事務局長、ネット社会健全化推進議員連盟事務局長 他

### 【経歴】

環境大臣政務官、衆議院議院運営委員会議事進行係、自民党国会対策委員会副委員長、自民党総務会総務、自民党外国人労働者等特別委員会事務局長、群馬県議会議員(2期)など

皆様には、日頃より大変お世話様になっております。また、新型コロナウイルス感染拡大防止ならびに対応にご尽力くださっていることに感謝申し上げます。一日も早く安心・安全な日常を取り戻せるよう引き続き全力で取り組んでまいります。

さて、私は群馬県議会議員として二期群馬県政に、衆議院議員として三期国政に皆様のお力で送り出してください、「皆様の声」を形にするため活動してまいりました。現在は、環境副大臣として、「2050年カーボンニュートラル(脱炭素社会への移行)」に向けて、産業・エネルギーなど構造改革の必要に迫られる様々な分野への支援策拡充などに取り組んでおります。

また、同時に、子育て支援・障がい者対策・中小企業支援・農業対策などに全力で取り組み、「地域に活力、くらしに安心」をつくりだすよう、地域の皆様と連携しながら地域の発展に全力で取り組んでおります。

現在は、気候変動による自然災害の大規模化、高温障害による農業(食)への影響などをはじめ、安全保障問題、未知なる感染症の脅威への対応等、日本だけでなく国際社会全体が密接に関連する課題が山積し、それに伴い急激な社会構造の変化への対応が迫られています。私は「未来への希望を切り拓く」との思いを強くもちながら、日本の安全・安心、そして子ども達の未来のため、持続可能な社会の実現に向け邁進してまいります。

引き続きのご指導ご支援いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

衆議院議員 **ささがわ 博義**

# TSUNAGU

2021年  
秋冬号

未来への希望を切り開く。

～つなぐ～

ひろよし

## 「ささがわ博義」で どんな人？

### 【プロフィール】

生年月日 昭和41年8月29日(55才)・丙午・B型

8月29日の星座は、「率直的な」おとめ座らしい。B型は、裏表のない、ストレートな性格と言われるが当たっているかも

趣味 読書・映画鑑賞・ガーデニング

読書は、専門書・歴史書・小説から週刊誌まで幅広く、映画は、古典から話題作まで

趣味・番外編

プロ野球は、子どもの頃から中日ファン、関東・群馬県で、中日ファンを公言するのは如何なものか、と内心スタッフは思っている…実は、プロレスも大好き、往年のプロレスラーが話題に上がると話が止まらない

好きな言葉 兼愛非攻

尊敬する人物 徳川家康

実は、バランスを重視する調整型?!

### 休日の過ごし方

庭に草花を植えることが趣味、自分で育てた花を部屋に飾り、家族に喜ばれている。夫人曰く、「見かけによらず、アレンジセンスあるのよ」  
芝刈りで汗を流すことでストレス発散しているらしい

### 毎日電車通勤

初当選以来、基本的には毎日、熊谷駅から電車通勤。国会議員の中でも、地元を生活拠点にしている人は少ないのだとか

### 好きな食べ物は？

「とんかつ」  
最近では、カロリーや栄養のバランスを気にするようになり野菜や魚を食べるように。朝食は、納豆、みそ汁、ヨーグルト(黒糖入り)

### 地元が大好き!

温かくて情に厚い方々がたくさんいて、自然が豊かで、空気がおいしいところ。一般質問でも上州弁が出てしまう愛車は、スバル「フォレスター」

### 体力十分

最近では、地元の市民マラソンに夫婦で参加。周りの心配をよそに5kmを完走。ストレスをためない体質。どこでもいつでも、すぐに眠れるのが特技?!

### 家族構成

妻と長男(23才)・長女(21才)・次女(18才)。  
娘の前ではメロメロです。そんな娘たちの尊敬する人物は「お父さん」

### ハプニング

(大臣不在)

本年5月10日に環境大臣が虫垂炎のため緊急入院。緊急入院を知ったのは、当日、地元から東京へ向かう車中。急遽国会へ向かい、大臣のピンチヒッターとして参院予算委員会へ答弁することに。ほかの閣僚は「何で、笹川君がいるの?」という顔だったそうです。翌11日には衆参それぞれの環境委員会で重要法案の趣旨説明を行いました。



2021.5.10 参院予算委員会・答弁の様子

## 衆議院議員 ささがわ博義

ひろよし



# これが聞きたかった！明快回答！Q&A



## Q 新型コロナウイルス感染症の現状とこれからについて

「命を守る政策」と「生活・経済を守る政策」の隙間を埋めることが政治の役目

**A** まず喫緊の課題となるのは、ワクチン接種の促進です。とくに最近では、これまで感染しにくいといわれてきた小さいお子さんへの新型コロナ感染も広がっています。まだワクチンを打つことができない乳幼児や児童を守るためにも、同居のご家族を含めた周りの大人の方には、速やかなワクチン接種をお願いしたいと思います。また、もう一つの課題が病床者の対応です。新型コロナの患者さんはもちろんですが、全国には新型コロナ以外の病気を患っている方も大勢いらっしゃいます。ですから、コロナ病床を確保すると同時に、それ以外の病気の治療に影響が出ないようにしなくてはならないのです。今回のコロナ禍で、医療体制においても様々な問題が浮き彫りになりました。一日も早いコロナ

収束を目指すとともに、明らかになった多くの課題を検証し、次に活かさなければいけません。平時と有事では、医療体制の問題点も分けて考える必要があるでしょう。医療機関がどうやって有事に対応できるようにすればよいのか、法的な整備も求められます。地球温暖化による気候変動によって、今後また未知のウイルスによる感染症が発生する可能性もあります。そのときに場当たりの対策をとっているのは、多くの方々の健康を守ることはできません。病院の設備や人的資源をはじめ、ホテルなど医療設備以外の施設も含め、「将来また感染症の脅威に襲われた場合にどうするか」を考えた仕組み作りをしていく必要があります。また、「命を守るための政策」と同時に大切なことは「生活・経済を守る政策」です。相反する部

分が多くありますが、それぞれの観点から必要なことを国民の皆様と「対話」を重ね、問題点を見つけ個々に丁寧に対応していくことが今まさに必要とされていることだと思います。この隙間を埋めることは政治の責任です。



## Q 2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会への移行）について

**A** 地球温暖化の問題は、環境、産業、農業などあらゆる分野に関わる重大な課題です。2020年10月、菅義偉内閣総理大臣は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。カーボンニュートラルとは、CO2をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引き、その合計を実質ゼロにすることです。

### ① 地球温暖化による気候変動への対策

気候変動の問題には、温室効果ガスの排出削減と吸収を進める「緩和」と、すでに避けられない気候変動の影響を軽減・防止する「適応」の両面から取り組む必要があります。日本はアジアの経済大国として、環境対策のイニシアチブをとっていかねばなりません。同時に、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの普及にも力を注いでいます。ただし、エネルギーは日常生活や社会活動の維持に欠かせないものであり、自然災害で共有がストップしたり、価格が不安定だったりしては困ります。省エネを徹底しながら、一つの資源に偏ることなく、安定したエネルギー供給を目指すべきだと考えます。

### ② 構造改革の必要に迫られる様々な分野、中小・零細企業への支援策の拡充

最近では、従来の太陽電池よりも薄くて軽い「ペロブスカイト太陽電池」など、様々な分野で技術革新が進んでいます。自動車においても、2035年までにガソリン車の新車販売を廃止し、電動車100%を実現するとしての方針が示されています。しかし、従来のガソリンスタンドと同じくらい充電スポットや水素ステーションが普及しなければ、電動自動車も水素自動車も広がるはずがないでしょう。どんな環境対策も、利便性が向上しなければ生活には根付きません。そのため、技術開発を推進すると共に、現在の日本の産業を支えている中小・零細企業の皆様に変化に対応し、引き続き事業の発展の継続が出来るように、それに伴う設備投資や社会資本整備についても、様々な形で支援を行っていきます。



会をつなぐPROJECT 学生実行委員会インタビュー（受給の学生団体）

## Q 子育て環境の整備について

**A** 一口に「子育て」と言っても、お子さんの年齢や保護者の考え方によって、求められるサポートの内容は大きく異なります。また、時代や地域が変われば子育て環境も変わりますから、画一的な枠組みだけを作っても、実態にそぐわないものになってしまいます。最近ではライフスタイルの変化により、多世代同居の家庭も少なくなってきました。その中で大切なのは、子育てを孤立化させないこと。妊娠から出産、そして子育てと、その地域に合わせた支援の形が必要だと思えます。私は現在、自民党の学童保育（放課後児童クラブ）推進議員の会で事務局長を務めています。共働きのご家庭にとって、学童クラブの環境改善は非常に大きな意義を持ちます。保護者の皆様のご要望をヒアリングしながら、お子さんご家族の双方にとってより良い形を目指しています。

## Q 障がい者の方々が普通に暮らせる社会について

**A** 私は、誰もが自立して安心・安全な生活を送ることができる、ユニバーサル社会の実現を目指しています。ただ、障がい者の方の場合、障がいの分野や程度はそれぞれ違います。そのため、当事者やご家族とこまめな意見交換をしながら、できるだけ多くの方のご要望に添った改善策を進めています。取り組みの一つが、農業と福祉が連携することで共生社会の推進を図る「農福連携」です。障がい者の方々が農業分野で活躍できれば、「社会を支えている」という自信とやりがいを得ることができます。同時に、近年人手不足が深刻化している農家にとっても、担い手を確保できるという利点があります。また、環境省でも、国立公園のユニバーサルデザイン化を推進しています。これによって、車椅子など身体の不自由な方にも、自然豊かな国立公園を訪れていただけるのではないかと考えています。

## Q スマート農業をはじめとする農業の未来について

**A** スマート農業とは、ロボット技術やICTを活用して省力化や品質向上を実現する、新しい農業の形です。これらの技術を積極的に活用すると同時に、気候変動の影響への対策もとっていく必要があります。たとえば地球温暖化が進む中で、従来のような産地が維持できなくなる可能性があります。高温障害や台風などの自然災害に備えて、品種改良も進めていかねばならないでしょう。また、日本の農業を守るためには、消費者の食生活に合わせた販路の拡大が求められます。何を食べるにしても、一人の人が食べられる全体重は変わらないわけですから、その中でいかに日本の農産物を食べる機会を増やすか、ということなんです。そういう意味では、食育も非常に重要です。子ども頃から地域の農産物を知り、その味に慣れ親しむことは、将来的な農業の維持・発展につながるはずです。

## Q 安全保障など国際社会の中の日本について

**A** 中国の急激な軍備拡張や海洋進出、北朝鮮の核・ミサイル開発など、近年日本を取り巻く安全保障環境は激変しています。その中で、日本やアジアの平和と安全を守るには、同盟国であるアメリカとの関係をどう維持していくか、ということが重要になります。また、環境対策と同じように、安全保障においても東南アジアとの良好な関係性が必要です。とくに対中政策においては、5年10年の話ではなく非常に長期的な視点で戦略を立てなければなりません。現在、さまざまな国と協力して、世界の平和と安全を維持するための集団安全保障の枠組みを作ろうとしています。そのような枠組みの中で、中国とも機会あるごとに対話を続けながらも、いざというときにはしっかりと体制を整えておくことが大切だと思います。



政治を志し、1996年に初めて国政選挙に挑戦し、3回の落選を経て、2007年に県議に当選、2012年に衆議院議員として国政へ。県政まで11年、国政まで16年という長い期間諦めず、活動を続けてきた笹川さんには、あるスタッフが「何でここまでして、議員になろうとするのですか？私が、博義さんと同じ立場ならやりません！」と質問したそうです。当時、議員でなかった笹川さんは、「お金や地位や名誉には魅力を感じない。

世のため人のために役に立たなかったら自分が生まれてきた意味を見出せない」と答えたそうです。「裏表のない、ストレートな性格のB型」ゆえか、強いイメージもたれがちな笹川さんですが、取材を通し嘘をつかない、打算のない純粋な思いで、全力投球で取り組まれている姿勢を強く感じました。

取材・編集：株式会社 小幹



厚生労働省HP ・・・・・・・・・・・・・・・・  
新型コロナワクチンについて



自民党特設HP ・・・・・・・・・・・・・・・・  
新型コロナ あなたへの支援



首相官邸HP ・・・・・・・・・・・・・・・・  
ワクチン接種について



ワクチンの効果

ワクチンの副反応

接種後も対策を